

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 大肚宗徳  
 ( J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8 )  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 中野 宏  
 電 話 0 6 - 6 2 2 6 - 7 3 4 3

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 3 月 30 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期業績予想値と本日公表いたしました平成 30 年 3 月期通期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期 通期業績予想値と実績の差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する純利 益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	52,000	300	△900	△1,900	円 銭 △20.56
今回実績 (B)	51,533	△1,023	△1,947	△3,426	△35.95
増減額 (B-A)	△467	△1,323	△1,047	△1,526	—
増 減 率 (%)	△7.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	55,882	770	△458	△752	△9.24

(注) 平成 30 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、平成 29 年 10 月 31 日実施の第 4 回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換による新株式の発行分(7,936,500 株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 差異の理由

売上高は概ね前回予想どおりの実績となりました。営業利益、経常利益については決算数値の精査・確定作業を進める中で、一部売上について期ずれが生じ、また、先期計上した販売代理店の貸倒引当金の取り崩しが時期尚早と判断したこと、新たに在外連結子会社の取引先について貸倒引当金を計上したことなどにより、前回予想値より損失が増加いたしました。

また、商標使用許諾契約の解除の会計処理について外部監査人と協議を重ねた結果、特別損失として計上することとなり、親会社株主に帰属する当期純損失が前回発表時から下回ることとなりました。

※貸倒引当金及び特別損失の詳細につきましては、本日発表「貸倒引当金(販売費及び一般管理費)及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上